

推進委員ちば

Vol.368

2022. 1.

千葉県交通安全活動推進センター



謹賀新年

香取神宮 (香取市)

令和4年 交通安全年間スローガン決定! (内閣総理大臣賞)

《運転者へ呼びかけるもの》

手を上げる 子どもはあなたを 信じてる

《歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの》

スマホじゃない 見るのは前でしょ 周りでしょ

《中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの》

とうげこう よそみ おしゃべり きけんがいっぱい



年頭のごあいさつ



千葉県警察本部
交通部長

山本 能之

明けましておめでとうござい
ます。

千葉県交通安全活動推進セン
ター及び地域交通安全活動推進委員
の皆様におかれましては、御家族
共々穏やかに新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

皆様には、平素から地域におけ
る交通安全活動の中心として、交
通安全教育や広報啓発活動など、
各種交通安全活動に御尽力いただ
いておりますことに敬意を表しま
すとともに、警察行政各般にわた
り深い御理解と御支援を賜って
おりますことに心より感謝申し上げ
ます。

さて、昨年の県内の交通事故情

勢につきましては、死者数は一昨
年と比べて減少しましたが、発生

件数及び負傷者数は増加したほか、
6月には八街市内の通学路におい
て、飲酒運転のトラックが下校途
中の小学生の列に衝突し、多数の
小学生が死傷するという痛ましい
事故が発生するとともに、年末に
は交通死亡事故や飲酒運転が関係
する事故が多発するなど、大変厳
しい情勢でありました。

県警では、これら悲惨な交通事
故の根絶に向け「千葉県警察交通
安全緊急対策アクションプラン」
を策定し、通学路等における交通
安全の確保、飲酒運転の根絶を柱
として、道路交通環境の整備と交

通規範の周知徹底、飲酒運転の防
止と取締りの強化に全力で取り組
んでいるところであります。

また、県警では、ドライバーに
歩行者保護意識を徹底させるため、
引き続き歩行者保護「ゼブラ・ス
トップ」を強力に推進することと
しており、ドライバーの皆さんに
は、信号機のない横断歩道の手前
では減速し、横断歩行者がいる場
合には必ず一時停止して、その横
断を妨げないこと、歩行者の皆さ
んには、道路横断時の安全確認や
ドライバーに横断意思を伝えるた
めの手上げ横断のほか、横断歩道
のある場所の付近では横断歩道を
利用するなど、安全行動の周知徹
底を図ってまいります。

これらの対策を推進し交通事故
を根絶するためには、地域交通安
全活動推進委員の皆様が必
要不可欠であります。

本年も引き続き、地域における

交通安全意識の高揚に向け、交通
安全教育や広報啓発活動に御尽力
を賜りますようお願い申し上げま
すとともに、千葉県交通安全活動
推進センターの益々の御発展と、
地域交通安全活動推進委員の皆様
の御健勝と御多幸を心から祈念申
し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



千葉県警察本部交通部 交通総務課長



高原清久

謹んで、新年の御挨拶を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症拡大により、交通安全に向けた諸活動が困難な状況下において、地域交通安全活動推進委員の皆様におかれましては、地域における交通安全活動のリーダーとして、各種広報啓発活動等による交通事故防止に御尽力いただきありがとうございますとともに、警察行政各般にわたり多大なる御理解と御協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年中の交通事故情勢につきまして、発生件数及び負傷者数は、

昨年よりも増加したものの、死者数は、昨年と比較して7人減少の121人となりました。

しかしながら、昨年6月には、八街市の通学路において飲酒運転のトラックが下校途中の小学生の列に衝突し、多数の小学生が死傷する大変痛ましい事故が発生するとともに、その後も飲酒運転による交通事故が相次ぎ、年末には死亡事故が多発するなど、大変厳しい交通事故情勢でありました。

県警では、八街市における交通事故の発生を受け、これら悲惨な交通事故を二度と発生させないために、通学路等における交通安全の確保、飲酒運転の根絶を柱とした「千葉県警察交通安全緊急対策アクションプラン」を策定し、各種対策に取り組んでいるところであります。

一つ目の「通学路等における交通安全の確保」については、教育委員会、学校、道路管理者等と連

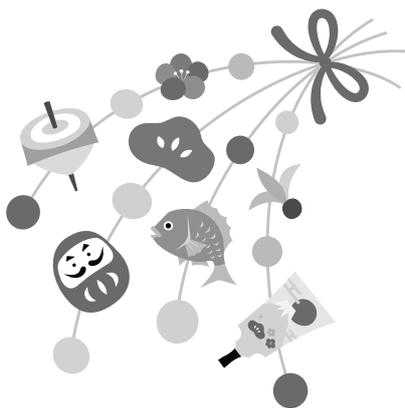
携した合同通学路点検を行い、必要な交通安全対策を速やかに講じ、児童の安全確保を図ります。

また、歩行者保護意識の向上を図る広報啓発活動や、登下校時における見守り活動などの諸対策についても、児童の安全を確保する効果が高いことから、地域交通安全活動推進委員の皆様や関係機関・団体の御理解と御協力を賜りながら、地域と一体となった活動を推進してまいります。

二つ目の「飲酒運転の根絶」については、飲酒運転の徹底した取締りはもちろんのこと、ドライバーの家族や事業主、酒類提供者等にも、飲酒運転は極めて悪質・危険性が高い犯罪行為であること強く認識してもらうため、広報啓発活動や交通安全教育などを通じ、飲酒運転根絶気運の醸成を図り、飲酒運転は「しない・させない・許さない」社会環境の構築に努めてまいります。

これらの交通事故防止対策については、地域と一体になって推進することが不可欠でありますので、「交通安全県ちば」の実現に向け、引き続き地域の交通安全活動のリーダーである交通安全活動推進委員の皆様と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全活動推進センター及び地域交通安全活動推進委員の皆様との御発展と御健勝を祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。



令和3年中の交通事故発生状況

(令和3年1月～令和3年12月)

◆ 県内の交通事故発生状況

区分	総数	前年比
発生件数	13,534	+661
死者数	121(119)	-7(-6)
負傷者数	16,107	+692

※ 死者数欄の()内は発生件数を示す。

◆ 死者数の多い都道府県

順位	区分	死者数	前年比
1	神奈川県	142	+ 2
2	大阪府	140	+ 16
3	東京都	133	- 22
4	千葉県	121	- 7
5	北海道	120	- 24
6	埼玉県	118	- 3
7	愛知県	117	- 37
8	兵庫県	114	+ 4
9	福岡県	101	+ 10
10	静岡県	89	- 19

○全国の死者数 2,636人
(前年比 -203人、-7.2%)



◆ 死亡事故の特徴

1 事故類型別発生状況

- 事故類型別では、車両相互が47件(39.5%)、車両対歩行者が43件(36.1%)、車両単独が26件(21.8%)、踏切が3件(2.5%)となっている。
(車両相互には、自転車関連事故19件が含まれる。)

2 昼夜間別発生状況

- 昼夜別では、昼間が64件(53.8%)、夜間が55件(46.2%)となっている。
- 昼間の類型別では、車両相互が29件(45.3%)、車両対歩行者が20件(31.3%)、車両単独が14件(21.9%)、踏切が1件(1.6%)となっている。また、夜間の類型別では、車両対歩行者が23件(41.8%)、車両相互が18件(32.7%)、車両単独が12件(21.8%)、踏切が2件(3.6%)となっている。

3 年齢層別死者数

- 高齢者が73人(60.3%)と最も多く、次いで若者及び50歳代がそれぞれ12人(9.9%)、40歳代が8人(6.6%)、30歳代が5人(4.1%)、子供及び60歳～64歳がそれぞれ4人(3.3%)、25歳～29歳が3人(2.5%)となっている。

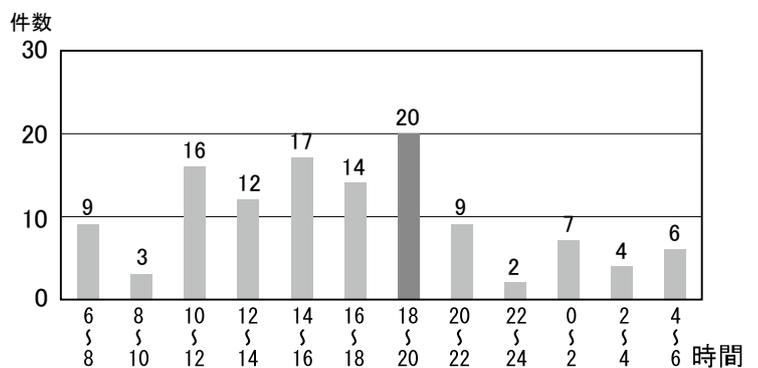
4 状態別死者数

- 歩行中死者が46人(38.0%)と最も多く、次いで四輪乗車中死者が36人(29.8%)、自転車乗用中死者が23人(19.0%)、二輪乗車中死者が15人(12.4%)、その他が1人(0.8%)となっている。
なお、歩行中死者のうち高齢者は36人(78.3%)である。
- 四輪乗車中死者のうち、シートベルト非着用者は18人である。

5 法令違反別発生状況

- 前方不注意が42件(35.3%)と最も多く、次いで安全不確認が30件(25.2%)、運転操作不適が19件(16.0%)、その他の違反が7件(5.9%)、信号無視が6件(5.0%)、歩行者妨害、一時不停止及び安全運転義務違反その他がそれぞれ3件(2.5%)、右側通行及び動静不注視がそれぞれ2件(1.7%)、優先通行妨害及び交差点安全進行義務違反その他がそれぞれ1件(0.8%)となっている。

6 時間帯別発生状況



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会
千葉県交通安全活動推進センター
ホームページアドレス <http://www.chiba-ankyo.or.jp>

〒261-0025 千葉市美浜区浜田2丁目1番地
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
TEL 043-271-8481